

【校章】

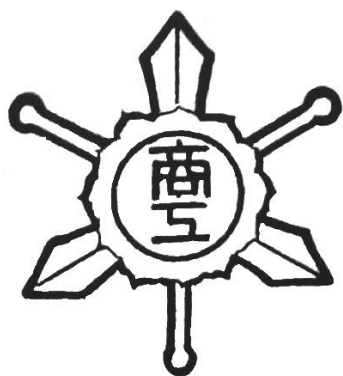
創立当初の校章は、図案作成の時間的余裕が無かったことや市立であったことから市内の小学校が用いていた三種の神器を組み合わせたもので、中央に「商工」と文字を置き換えた。

その後、独自の校章をという要望に応じて、佐野教頭（当時）が新しいデザインを考案した。六華形の輪郭を小刻みにし、その中心に商工のいずれにも通用する「業」の文字を入れた独自のものであった。

さらに後年、校舎の新築移転、甲種昇格があり校風が一新されたのを機に、校章を修正することになった。この時のデザインは、全校の職員・生徒に募集し、有力なものを採用して最終的には佐野教頭が修正・作成した。

この校章は、三角形のガミ違いの中に「業」の文字を入れたもので、現在の校章の原形となったものである。現在の校章は、幾度か帽章を作っている間に製作所でデザインの間違いがあり、そのデザインが良かったことで、そのまま修正されることなく使用されるようになった。

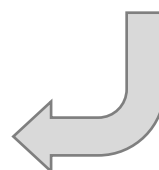
新制高校になって中心の「業」の文字に変えて「商」を入れたデザインとなった。デザインは、工業高校城倉可成教諭（当時）の考案である。



創立当初の校章



戦前長く使用された校章



現在の校章